

「ほうじょう」コラム

題 「ほうじょう」のドック整備について

「ドック」とは、「船の建造や修理、荷揚げ卸しなどに用いる設備や施設」のことを表します。船舶は定期的に陸揚げして、船底部分に付着した貝類等を除去する必要があります。貝類等が付着すると船速が遅くなり、燃料消費量が増加します。その他にも船体に振動が発生するなど悪影響があるため、年に一回陸揚げ整備を施し、県有財産である船舶を長期間安全に使用出来るようにしています。



造船所に上架した「ほうじょう」 ※船底が汚れています



上架後の舵とスクリュプロペラ



船員による研磨作業

船底の部分は高圧洗浄をして貝類等を除去した後、船底塗料を塗装します。
スクリュープロペラやプロペラシャフト、舵などは研磨作業も伴います。
限られた予算の中で点検整備を実施しているため、船員も多くの作業に従事しています。



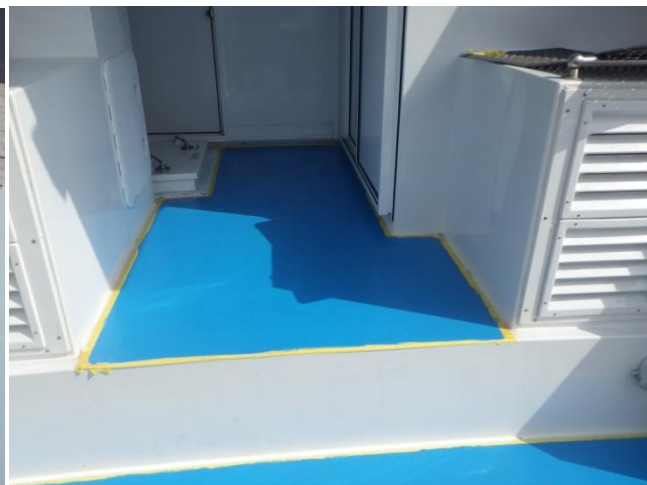
船長によるスラスター研磨作業



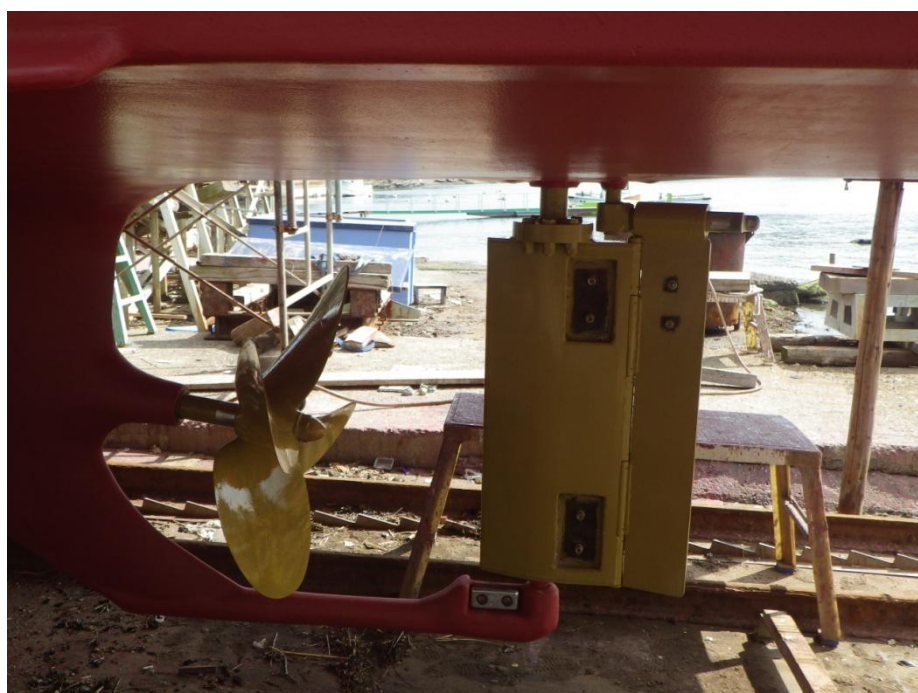
機関長による研磨後の塗装作業



航海士による上甲板研磨作業



ビフォーアフター（キラッ）



限られた予算の中で船体整備や定期点検を実施するため、船員自ら汗を流し作業を実施しています。

安全航行に努めながら万全の体制で業務に従事し、神奈川県の水産業振興に貢献するのが責務と考えています。